

ステークホルダーと共有する「セコムグループ ロードマップ2027」

セコムは、2028年3月期をターゲットとした「セコムグループ ロードマップ2027」を、2023年5月に公表しています。

近年の社会変化は著しく、体感治安の悪化や高齢化、世界的なインフレの進行など、多くの社会課題が頻発しています。一方、セキュリティ業界は、AIやIoT、画像解析、クラウド、5Gなど先端技術の恩恵により、変革の時を迎えています。

セコムは、こうした課題から生じるニーズを的確にとらえ、多種多様なパートナーとのオープンイノベーションを継続し、あらゆる場面で確かな「安全・安心」を提供することで、社会課題の解決に寄与し、持続的成長をめざします。

「セコムグループ ロードマップ2027」における5つの重点施策

セコムが培ってきた高度な技術と豊富なノウハウを原動力として、あらゆる場面での確かな「安全・安心」の提供をめざしていきます。

Road Map 2027 ―高度な技術と豊富なノウハウを活かし、あらゆる場面での安全・安心を提供―

重点施策	主な取り組み
見守り・セキュリティ	セキュリティを中心とする新たなサービス・ソリューションの提供 - みまもりクラウドを活用し、様々な情報を連携することで、切れ目のないみまもりを実現 - 堅牢なセキュリティとオープンなクラウドを融合させたビジネスインフラへの進化
海外	市場拡大が見込まれる海外市場で更なる成長を実現 - セキュリティ・メディカル分野における既存ビジネスの深耕 - 未進出地域・新規分野における新たな事業ポートフォリオの拡大を推進
BPO・ICT	お客様の事業運営を支えるインフラ基盤を提供 - サービス提供基盤としてのデータセンターやネットワークの拡充 - 円滑な事業運営を支える各種ソリューションの拡充、BPOサービスの提供
生産性向上	サービス価値の最大化と業務効率化を通じて生産性向上を推進 - これら重点施策の実行により、新たなサービスを次々と提供し、サービス価値を最大化 - 最新の技術を活用しながら、社員一人ひとりのポテンシャルを引き出し、業務効率を向上
ステークホルダー	ステークホルダーから選ばれ続ける会社づくりを推進 - 従業員エンゲージメント向上等の環境整備を通じ、人材の確保・育成を継続的に推進 - 全てのステークホルダーから信頼される存在になるためのサステナビリティ活動の推進

「セコムグループ ロードマップ2027」の進捗

見守り・セキュリティの進化

みまもりサービスのさらなる進化

AIやクラウドといった技術を活用し、日常生活のあらゆる場面で「安心」を提供するため、ホームセキュリティとみまもりクラウドの連携により、高齢者や家族、介護事業者等に向け、様々なサービスを展開していきます。

最近の取り組み

- 「SECOM住環境改善フィルム」のラインアップを刷新(2026/3)→P37～P38
- 日本初の家庭向けオートショック機能搭載AEDを発売(2025/7)→P38

堅牢なセキュリティとオープンクラウドの融合

事業所向けのシステムセキュリティ「AZ」シリーズを軸に、「オープンなクラウドサービス」の充実を図り、セキュリティサービスからお客様の事業運営を支える「ビジネスインフラ」へと進化させていきます。

最近の取り組み

- 「AZ」「AZ-Air」による画像監視サービスと監視カメラの連携を強化し、セキュリティ機能・操作性を向上(2025/10)→P35～P36
- 既存サービスの運用効率向上、顧客体験の改善、AI技術などを組み合わせた新サービスの創出を目的とした専門部署を設立(2026/4)→P36

安全商品のSaaS化

セコムのノウハウを生かし、オンライン・セキュリティシステムを補完する安全商品を、安全・高度・シンプルな「クラウド時代のサービス」へと進化させていきます。

最近の取り組み

- AI機能を組み込み、設定エリア内の異常を検知・通報する「セコムAIカメラ」を提供開始(2024/6)→P36
- カスタマーハラスメント(カスハラ)対応専用アプリを提供開始予定(2026年秋)→P37

警備業界のDXを推進

セコムのシステムやノウハウを、想いを共にする業界各社へ提供することで警備DXを推進し、地域や社会全体の「安全・安心」の品質向上を牽引していきます。

最近の取り組み

- セキュリティロボット「cocobo」が公道や公開空地での活用が可能に(2025/4)→P36
- 警備DXへの取り組みを組織的に加速するため専門部署を設置(2025/4)
- 日本国際博覧会の警備を担い、「安全・安心」な運営を支援(2025/4-10)
- 防衛省から陸上自衛隊向けリモート警備システムの構築を受託(2026/2)→P36～P37

海外事業の強化

海外市場での成長加速に向け、セキュリティとメディカルの分野における既存ビジネスの深耕とともに、未進出地域・新規分野における新たな事業ポートフォリオの拡大を推進します。セコムブランドを世界に浸透させオーガニックな成長を加速するとともに、各国パートナーとの協業やM&Aの活用により海外売上高比率10%をめざします。

最近の取り組み

- インドネシアでオンライン・セキュリティシステム「セコムスマートセキュリティ」を提供(2025/9)→P38～P39
- グローバルセキュリティSI事業を展開するAVTEL社を完全子会社化(2025/10)→P39
- 北アイルランドのRadiocontact社を買収、アイルランド島全域での事業を強化(2025/5)→P38
- インドのベンガルールに先進医療も提供できる第2病院を建設(2030開院予定)→P43

BPO・ICT事業の強化

サービス提供基盤としてのデータセンターやネットワークの拡充に加え、円滑な事業運営を支えるSaaSソリューションや業務効率向上に寄与するBPOサービスを拡充・開発します。セコムの情報セキュリティ技術や24時間365日のオペレーション体制を中核に、お客様の事業運営をデジタル面で支えるインフラ基盤を提供していきます。

最近の取り組み

- ・(株)アット東京の新データセンター(CC3)がサービス開始(2024/7)→P47
- ・生成AIを活用したセキュリティの拡充に向け、協業でGPU事業モデルの実証実験に着手(2025/11)→P47
- ・セコムトラストシステムズ(株)が高水準のセキュリティと堅牢性を備えた「セキュアデータセンター®TC4」を開設(2025/10)→P47
- ・「TMJ Generative Solution」における新たな機能を追加(2025/8、2026/4)→P47
- ・保険事業向け「保険センター立上・運営サポートサービス」の提供開始(2025/10)→P47

生産性向上

最新テクノロジーを活用しながら、一人ひとりのポテンシャルを引き出すことで、業務効率を高め生産性向上を推進します。テクノロジーを生かした新たなサービスを次々と展開することでサービス価値の最大化を図ります。

最近の取り組み

- ・現場の業務量の適正化
- ・組織の改編
- ・生成AIの活用やビジネスプロセスの見直し
- ・社内ITシステムの刷新

ステークホルダー重視

社員の多様性拡大、well-being向上、能力の向上開花のための環境整備に取り組み、新しい「安全・安心」を提供し続ける企業であるために、人財の確保・育成に継続投資します。すべてのステークホルダーから信頼される存在であり続けるために、経営戦略とサステナビリティの一体化を加速していきます。

最近の取り組み

- ・定期昇給、5年連続ベースアップ、諸手当の充実などによる処遇改善
- ・執行役員に対する譲渡制限付株式制度の導入を決議
- ・女性の職域拡大と女性リーダーの育成
- ・社内公募制度の活用
- ・社内外の研修・教育機会の提供拡充
- ・理念浸透活動「“裕達”の環」を開催(2025年3月期、2026年3月期)
- ・再エネ利用の拡大を目的として、パーチャルPPA活用を推進

定量目標と企業価値向上

今後もセコムは、「セコムグループ2040年ビジョン」のもと、収益拡大・生産性向上を図る投資を継続するとともに、本ロードマップでの取り組みを投資家の方々と共有しながら、建設的で質の高い対話の機会を充実させていきます。また、ROE10%実現に向け資本効率を意識した経営を実践しつつ、定量目標の達成と企業価値の向上に取り組んでいきます。定量目標の実現に向けた財務戦略の詳細は財務担当役員メッセージ(P16～P17)をご参照ください。

ご参考までに、日本会計基準による2028年3月期の目標を以下に記載します。

	2026年3月期実績	2028年3月期目標
連結売上高	12,569億円	12,500億円以上
連結営業利益	1,603億円	1,600億円～1,800億円
配当性向	36.2%	45%前後
ROE	8.7%	10%